

「治水」と「環境」の両立を目指して！

～ 大分川・大野川河道管理環境検討委員会における環境配慮の取組 ～

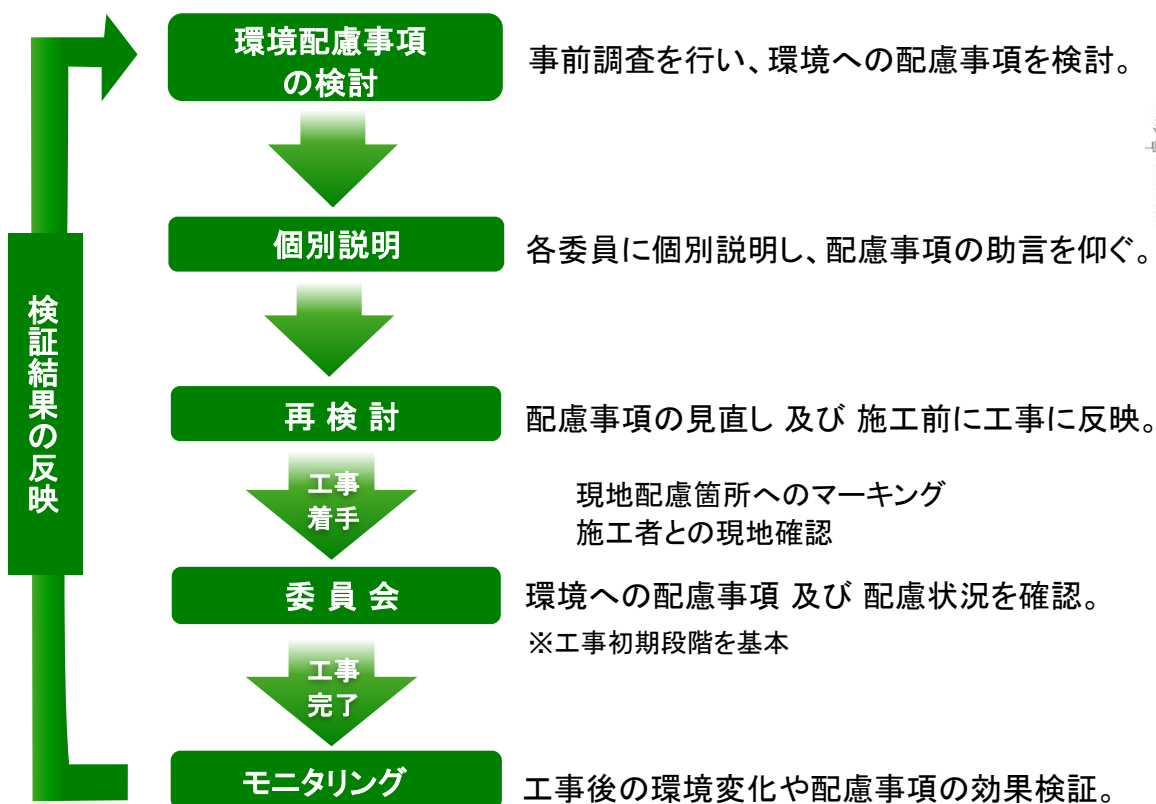
【 委員会の概要 】

大分川水系及び大野川水系の河道掘削や樹木伐採に関して、有識者からの環境面の助言を受けることにより、河川整備や維持管理のより一層の充実を図ることを目的に、平成20年に設立。毎年1回開催し、現在までに14回を開催しています。

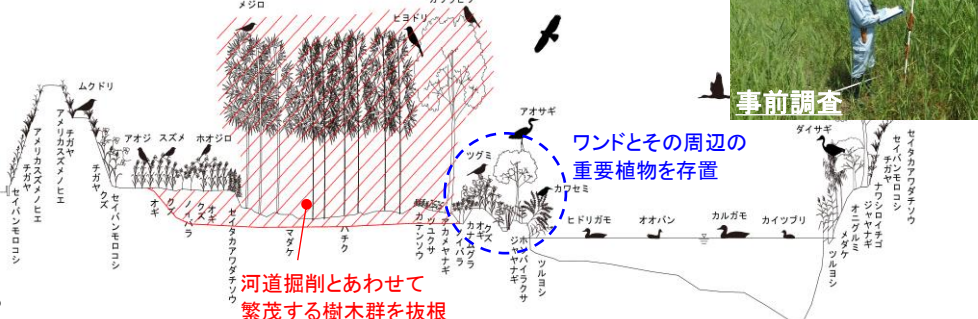
【 委員会の構成（R3. 6月時点） 】

- ・委員長：河川工学の有識者
 - ・各委員：動植物や漁業関係の有識者(12名)
- 河川水辺の国勢調査アドバイザー※、河川環境保全モニター、内水面漁業協同組合ほか
- ※魚類・底生動物・植物・鳥類・両生類・爬虫類・哺乳類・陸上昆虫類

【 委員会の内容 と 工事における環境配慮の進め方 】



環境配慮事項の検討

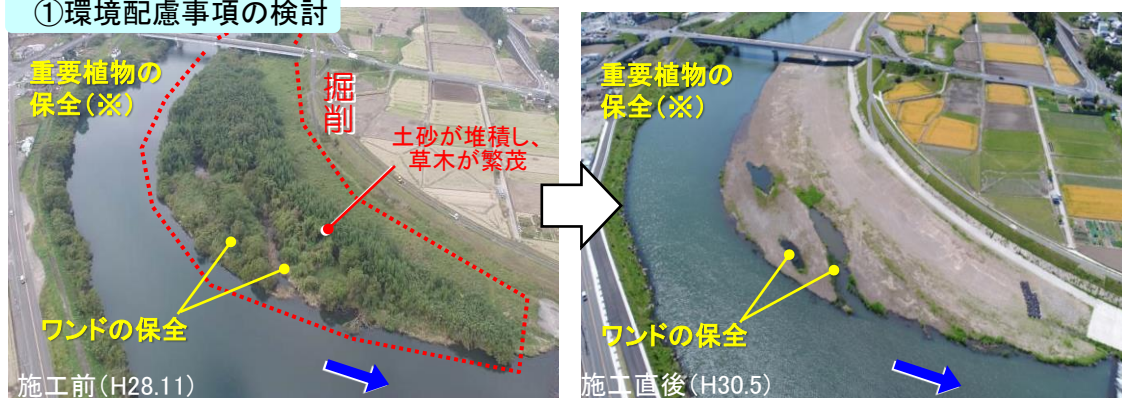


委員への個別説明



【 環境配慮の事例 】 ワンドや重要な植物の保全

①環境配慮事項の検討



②環境配慮事項の施工現場への反映



③環境配慮の実施

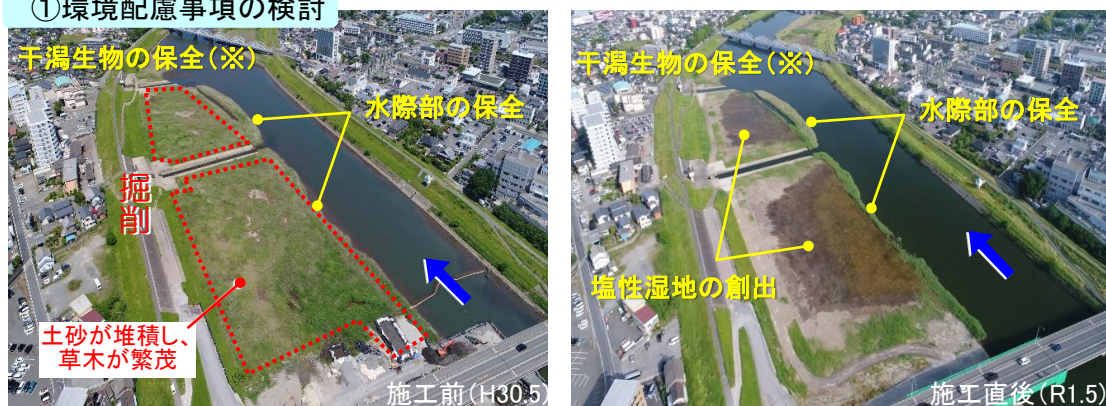


④工事後のモニタリング



【 環境配慮の事例 】 塩性湿地の創出や重要な干潟生物の保全

①環境配慮事項の検討



②環境配慮事項の施工現場への反映



③環境配慮の実施



④工事後のモニタリング



干満で水位が変化する感潮域（汽水域）で、高水敷の掘削に伴い、有識者の助言により干潟生物の保全を行いました。あわせて感潮域特有の動植物が見られる「塩性湿地」を創出しました。

